

つくしんぼ だより

横須賀市里親会

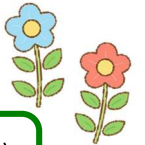


発行：横須賀市里親会(つくしんぼの会)
事務局：〒238-0026
横須賀市小矢部2丁目14-1
春光学園内
電話：046-851-2362
メール：satooyashien@shunko-gakuen.jp

2025/01 NO.19



おっきい
みかん!



「つくしんぼだよりでのつながり」

横須賀市里親会 会長 谷 英明

平成18年4月に横須賀市里親会は設立され、その年から『つくしんぼだより』が発行されました。当会の理念である「各家庭の里子をみんなで見守り、決して里親を一人にしない」を基に、本誌では里親家庭での楽しいこと、辛いことが共有できています。時には実子の本音に触れることもでき、新しい気付きを得ることもあります。「ようこそ新里親さん」では、新しい里親を紹介することができ、仲間が増えていくことに喜びを感じています。ぜひ、多くの方に手にとっていただけたらと思います。

つくしんぼの会・鎌三わか芽会・ライオンズクラブ 合同レク みかん狩り

～合同レクにて広がる輪～

今年で5回目になるみかん狩りレクリエーションが、晴天にも恵まれ、11月9日(土)に津久井浜観光農園にて行なわれました。

今年は例年のライオンズクラブさんに加え、鎌倉三浦地域里親会(鎌三わか芽会)さんとの合同開催で、総勢70人近くの多人数、みかん狩りも昼食後のゲームもたいへん盛り上がりました。「初めまして」の顔ぶれにもかかわらず、子どもたちは誰とでも楽しそうに、ひとときも止まることなく元気に走りまわっていました。青空の下、みんなの笑顔がたくさん見られた合同レクリエーションでした♪



みかん
たーくさん!

的あてゲーム♪

みんなで
昼食☆



わか芽会の方でも、他の里親さんとも交流したい、という意見が出ていたので、今回合同レクが実現してよかったです。

みかん狩りだけでなく、ゲームなどがあって子どもたちも楽しかったと思います。

鎌三わか芽会会長
齊藤さん

みんなのひろば ～はじまり、そしてつながり～



里親になるために…

Hさん

里親に認定されるまで、座学で講習、児童養護施設での実習。認定後、乳児院での研修が11日間で、すべての研修は終了です。座学では知らないことがたくさんあり、興味深く学ぶことができ、施設での実習は実際にお子さんたちと触れ合うのでとても楽しく、勉強になりました。

乳児院での研修を4回終えたところで、緊急一時保護で2歳の女の子を預かることになりました。研修がすべて終わっていなかったのですが、認定後ということでお預かりすることになりました。

講習で頭でっかちになっていた頃にお預かりしたので、始めは大丈夫だろうかと不安もありましたが、元気いっぱい、食欲旺盛の子で、楽しく10日余りを過ごしました。その後、認定から1年経つ頃に5歳の女の子のレスパイトも経験しました。

まだ新米ではありますが研修で習ったことをベースに、それぞれの子どもの性格や背景に合わせて向かい合っていけたらいいと感じました。

はじまりの日

Sさん

委託の日、自分の大きなバッグを持ってニコニコやってきたC君。部屋に入ると自分の荷物を全部広げ、「これはふわふわの服。」「これはボクがあつめたどんぐり。」などと、ひとつひとつうれしそうに、エピソードつきで紹介してくれました。その時のことを、今でも時々思い出します。

あの日から約3年、一緒にいると彼の中で、あの日より前も後も、毎日が当たり前につながっているのを感じます。たくさんの友だちに囲まれて、「いつも楽しかった！今も楽しい！」と言う彼と、これからも一緒にたくさんの思い出を作っていきたい！と思っています。

あの時があるからつながれる①

Fさん

(自立した元里子(Aさん)との交流メール)

A一 お疲れ様です。ありがとうございます。定期券を更新する事ができました。

しばらく、お米ともやしの食事ですが、これも生活経験として将来の良い力になると思います。

生活保護から抜けた事はとても自信が付いたので、辛い、逃げ出したいとは思いません。おばさんの家を出た後でも力になってくれてありがとうございます。

社会性を身につけて、成長した姿を見せる事が目標で恩返しだと思っています。まだまだなので、待っていて下さい。

F一 おはよう。とても前向きな思考で頼もしく感じました。物事は捉え次第で+にも-にもなります。そして+思考は確実に幸せの女神が微笑みます！Aちゃん、応援していますよ。

A一 応援してもらえる事が嬉しいです。自分では、中々自分の事を応援出来ないので、ラインを見て頑張ろうと思えました。

～中略～

今、寂しい思いをしている里子に伝えたいです。様々な事情で家族とは離れてしまったけれど、支えてくれる人は必ず居て、けっして一人ではないと。

F一 子ども達の抛り所になれるよう、頑張ります！

あの時があるからつながれる②

Tさん

わが家が里親になり、初めて迎えたBちゃん。中学3年生の女の子で6ヶ月間一緒に暮らしました。高校受験前の大切な時期を安心して過ごせる様に手探り状態の中での6ヶ月でした。

その後Bちゃんは成人した時に晴れ着姿を見せに来てくれたり、結婚が決まった時は彼を連れて挨拶に来てくれたりしました。過ごした期間は短かったけれど、私達の事を忘れずに来てくれたのは、とても嬉しく思います。



研修報告

お誕生日
おめでとう！



一緒に
ピザづくり♪

関東甲信越静里親研究協議会

(関東ブロック 相模原市研修大会)

～参加者の感想～

「里子の気持ち、里子の声に耳を傾ける」

講師の山本先生は、里親家庭で実子という立場で育った経験から、リアルな里子の言葉を伝えて下さいました。里子は、里親や支援者の前で語れる内容は限られている為、先生の話は特に貴重でした。

「ルールや決まり事を一緒に考えたい、意味を教えて欲しい。」うなずく事ばかり！

最後に印象に残った言葉は

「里親自身が自分の人生を楽しんでいる事」そして「子育ては想像性」である。
ヒントを沢山頂いた研修でした。

その他の活動

☆里親会では、理事会のほかにも、みんなで集まって雑談や悩み相談などを行っています☆



里母サロン

「いろいろな悩みを…」

9月14日、里母サロンが8人の参加で行われました。

お隣同士で、「子どもが自己発信する言葉がなく、自立できるか不安だ。」「実子と里子が上手くコミュニケーションがとれない。」「学校との交渉でストレスを感じる。」等、里親としての悩みは尽きません。

里親は、傷ついた子どもと向き合い、何とか大人に対する不信感を取り除き、安心できる空間をつくる努力をしています。

その努力は並大抵の事ではありません。里親が心の疲れを吐き出し、また新たに向き合える力を得る為に里母サロンは存在します。

先輩方から色々な体験を聴き、里親としての引き出しを増やしていくのだと思います。そして、この仲間意識が里親会。

Tさん、Yさん、Nさん、また話を聴いてくださいね！
(Yさん)

里父の集い

「つながることの大切さ」

いわゆる「コロナ禍」も落ち着き、待望の「里父の集い」に参加することが叶いました。今回は、「赤おに」でおいしいごはんとお酒を囲んで鎌三地区と横須賀の合同開催。経験豊富な里父の皆さんのご苦勞や、楽しい思い出話を伺うことができました。私にとっては「経験をたくさんしてきたからこそその里父としての想い」を先輩方から感じる非常にエネルギーギッシュな時間でした。私は里親になってまだまだ年数は短いですが、「横のつながり」の大切さを日々感じています。里親会もそのうちの一つ。「人とつながること」を大切に…里親として子どもたちの応援団になっていきたいです。
(Sさん)



里親会へのメッセージ



粘土でおすしをつくったよ！

児童相談課から

横須賀市児童相談課 課長 深井 朋子

日頃より児童のためにご尽力いただき深く感謝申し上げます。

私は、令和3年4月より児童相談課へ配属となり、令和5年度より児童相談課長を務めております。横須賀市には、保健師職として採用され、感染症といった保健分野や障害や高齢などの福祉分野に携わってきました。福祉分野で得た経験を通じて「声を上げにくい人を支援したい」と考えるようになり、その難しさを児童分野で強く感じています。子どもの声を聴く「意見表明支援員(アドボケイト)」の導入を令和6年度より一時保護所から始めています。子どもが意見を言えること、その意見に対して答えを得られることを大切にすることを大切に事業です。

児童相談所に配属になってある日のこと、親御さんが言った「あたたかい家庭をつくりたかったんだ」という言葉には深く共感しました。子どもを育てることは大変ですが、笑顔や喜びを分かち合い、たくさんのお話を一緒に体験します。一方で期待しすぎたり、言葉が過ぎてしまうこともあります。しかし、そのことを通じてお互いへの思いやりが生まれます。どの行動にも「良い意図」があります。「あたたかい家庭をつくりたかった」というのも「良い意図」です。この「良い意図」を相手に伝えるためにはどうすればよいかを考えることが大切だと感じています。子ども、里親の皆さん、児童相談所と「良い意図」を共有し、共に「子どもの幸せ」と「自立」を支えていきたいです。引き続き皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

横須賀ライオンズクラブから

横須賀ライオンズクラブ 第一副会長 渡邊 弘

ライオンズクラブ国際協会は4万9,000のクラブ、140万人の会員によって構成され、地球上のほぼすべての国で奉仕の手と心を携えて地域社会に貢献しています。

我々横須賀ライオンズクラブは、当地横須賀に60年前初めて発足したライオンズクラブです。日本国内では704番目で、当時の横須賀市長、長野正義氏が初代会長でした。地域社会を中心に「献血」「地域清掃」「青少年の育成」などに力を入れた奉仕活動を行う団体です。地域の様々な団体と交流を図り、日本全国そして世界で災害が発生した時は、ライオンズクラブの活動主旨である「奉仕」を積極的に行っています。

現在当クラブは、30名以上のライオン(メンバーは〇〇ライオンと呼びます。)が在籍しています。里親会との出会いは今から12年前の2012年、「新たな奉仕事業」を行うにあたり、当時の会長、田中昌一氏が横須賀市へ赴き、ライオンズクラブとして何かお役にたてることのないかと打診した所、里親会を紹介して頂きました。最初は支援金を差し上げるだけでしたがその後、里親会の方からレクリエーションに参加して頂きたいとお誘いがあり、今に続いています。

近年は里親会主催の「ミカン狩り」に毎年ご招待を頂き、ミカン狩り後のピクニック形式での昼食やゲームなど、当クラブの高齢メンバーが童心に帰る事の出来る機会を頂き、楽しい時を過ごさせていただいて、メンバー一同感謝しています。

里親会とは通算12年の交流があり、皆さまと親睦を深めさせて頂いている中で、里親の存在が恵まれない子ども達の成長にとっていかに大切かを知ることができました。

里親には私たちには分からないご苦勞もたくさんあることと思いますが、子ども達が社会に出た時に、子ども達にとって里親は大きな存在であり力であることなのでしょう。これからも里親に陰ながら感謝しつつ、里親会の活動が幅広く理解され支援の輪が広がって、そして巣立って行く若者が、幸せな人生を送れます様にと願っています。

里親支援専門相談員より

春光学園 野手俊子さん

平成 23 年から春光学園で働きはじめ、平成 27 年から里親支援専門相談員になり、今年 11 年目を迎えました。

里親の皆さんは委託を受けたその日から生活の中で次々と起こる子どもの様々な行動に驚かれ、困惑されることの連続ではないかと思えます。縁あって家庭に迎え入れた子どもを変わらない養育者がいる里親家庭の強味を活かし、日々丁寧な対応で子どもたちの体や心を育ててくださる里親さんには頭の下がる思いです。又、里子の自立後も繋がり、精神的な拠り所となってくださっている里親の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

里子さんの養育は中途からの養育。私は社会的養護を必要とする施設の子供達に教えてくれることを里親さんにお伝えしながら、養育の知識や技術を里親さんと共に学び、生活の中に活かしていくことや、里子養育のチームの一員として里親子さんに伴走していきたいと思っています。微力ながら今後ともよろしくお願ひします。



ようこそ 新里親さん♪

☆森さんご夫妻☆

一昨年、里親登録となりました森です。里親を目指すきっかけとなったのは、妻からの「里親となって子育てをしてみたい」という一言でした。実子はおらず愛犬と暮らす日々の中、正直「え？」と戸惑いましたが、妻の熱意を感じ、里親制度について理解を深めるため児童相談所を訪問し、職員さんとの面談や施設での研修を通して色々と学ばせて頂く中で、当たり前な生活を送れない子ども達のために、自分達にも手助けにならないかという思いが強くなり、現在に至ります。

今後、児童相談所職員及び里親会の皆様に色々相談させて頂く事があるかと思ひますが、その際はよろしくお願ひ致します。



しらかばベビーホーム 小森俊昭さん

私の夢は、「生命尊厳」の生き方を守り抜くことです。そのことが、自分自身の使命と思っています。

しらかばベビーホームに入職し、前任者より引き継ぎ、里親支援専門相談員となりました、小森俊昭と申します。

正直に申しますと、私は未熟で卑屈な人間です。なので、たくさんの方を失敗し、苦しみながら生きてきました。未熟な私ですが、心から大事にし、信じてきたことがあります。それは、「人と人とのつながり」です。

社会人となり、20 代では教育の分野へ。しかしうまくいかず、悩み抜いた時に、大事な友との出会いがあり、20 代後半で福祉に携わり、今に至ります。その友がいなければ今の自分はあり得ません。だからこそ、日々感謝をもって、仕事をさせて頂いております。

私は里親さんを心から尊敬しております。それは、子どもたちの未来のために、自ら悩み、行動する方だからです。

その里親さんのために一体なにができるのか。共に悩みながら、そして「人と人とのつながり」を大事にしながら、子どもたちの幸福のために関係性を築けること、これ以上の幸せはありません。横須賀市里親会、春光学園、横須賀市児童相談所と共に連携し合い、学びながらの日々ですが、今後ともどうかよろしくお願ひいたします。

☆内田さんご夫妻☆

8月に里親認定され、里親会に入会しました内田と申します。

私達夫婦は妊活を始めた当初から里親制度を1つの選択として考えており、相談を重ねながら進めていった次第でございます。

教育や研修を実施していく中、社会的に養護が必要な子どもが多いことに驚くとともに、子どもと生活していく中で信頼関係を築き安心できる場所を与えたいと考えています。今後は色々な課題にぶつかり悩み、皆様にご相談させていただく事もあると思ひますが、よろしくお願ひいたします。

活動報告

2024年度 表彰者

長年の活躍ご苦労様です。

【関東甲信越静里親協議会 会長表彰】
野澤ご夫妻



横須賀市里親会 2024年度活動

4月	総会 イオン団体 PR 活動
5月	児相・里親懇談会
6月	理事会 さざなみ里親サロン 里親講座
7月	関東ブロック 相模原市研修大会 さざなみ里親サロン(研修)
8月	イオン団体 PR 活動
9月	理事会
10月	さざなみ里親サロン(研修)
11月	レクリエーション(みかん狩り) イオン団体 PR 活動 さざなみ里親サロン(研修)
12月	さざなみ里親サロン(研修)
1月	理事会・懇親会 里親フォーラム さざなみ里親サロン 広報誌つくしんぼだより発行
2月	イオン団体 PR 活動 さざなみ里親サロン(研修)
3月	理事会 さざなみ里親サロン
随時	里母サロン 里父、里母の集い

<寄付金>

横須賀女声合唱団様
横須賀ライオンズクラブ様
春光学園様
しらかばベビーホーム様
横須賀市社会福祉協議会
(共同募金年末たすけあい)

<賛助会員>

桑名様 中出様 石附様 田中様
大鋸様 細田様 下田様 須山様
斎藤様

(2024年1月～2024年12月分)
ご支援ありがとうございました。

<その他 活動支援>

川名様・Chapel of Hope 様
(クリスマスプレゼント)
ローソンストア100
横須賀三春町3丁目店様
(クリスマスケーキプレゼント)
ドミノピザ大矢部店
(クリスマスピザプレゼント)
イオンスタイル横須賀様
(イエローシートキャンペーン
によるギフト券)

ご支援ありがとうございました。

～横須賀市里親会・ホームページもあります！～

横須賀市里親会
～子どもたちに幸せな未来を～
養育里親からあなたへ

里親会の活動については、ホームページでもみなさんにお伝えしています。
「里親ってどんなことするの?」「里親会って?」などなど、
気になったらぜひホームページもごらんください☆
(もっと知りたい Q&A、私たちの活動 etc・・・)

<https://satooyasan.pigtail.jp/wp/>



QR コードはこちら